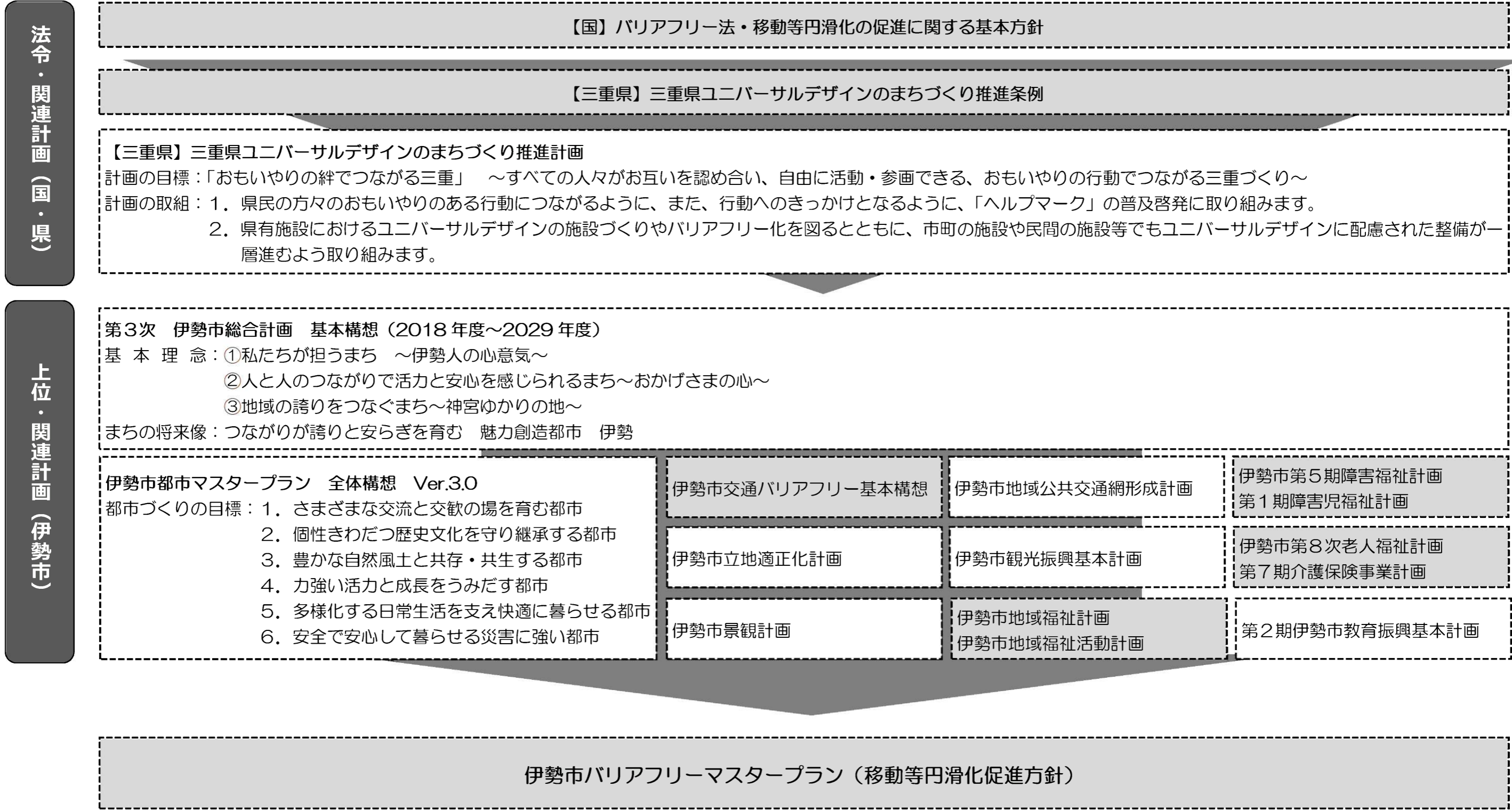


本計画の位置づけについて

本市のバリアフリーマスタープランを作成するにあたり、バリアフリー法や三重県ユニバーサルデザインのまちづくり条例などの法令や関連計画を把握し、本市の総合計画や都市マスタープランにおける将来のまちづくりの方向性を踏まえつつ、移動等円滑化促進地域の選定には、2017（平成29）年に策定した「伊勢市交通バリアフリー基本構想」における生活関連施設の位置づけや目標、その他、各種まちづくりや福祉関連の計画と整合を図り、市として面的・一体的なバリアフリーの方針を示していきます。



1. 現況整理及び住民意向調査、ヒアリング調査のまとめ

1-1. 現況整理のまとめ

「【資料集】伊勢市の現況について」で整理した項目の内、伊勢市の現況整理に関する事項は下記の通りです。

項目	内容	資料集 該当ページ
人口・障がい者数		
人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口は1985（昭和60）年以降減少傾向にあり、2015（平成27）年時点では約13万人を下回っている。 ● 2045（令和27）年には約10万人まで減少する。 	P3
年齢別人口	<ul style="list-style-type: none"> ● 15歳未満（年少人口）、15～64歳（生産年齢人口）が1985（昭和60）年以降減少傾向にある。 ● 65歳以上（老年人口）は増加傾向にあり、高齢化率も同じく増加傾向にある。 	P4
障害者等手帳所持者の推移（障がい者種別）	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害者等手帳の所持者は年々増加傾向にある。 ● 身体障害者手帳の所持者は減少しており、療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者は増加傾向にある。 	P5
等級別身体障害者手帳所持者の推移	<ul style="list-style-type: none"> ● 1級で増加傾向にあり、その他の等級は横ばいもしくは減少傾向にある。 ● 所持者数は1級が最も多く、次いで4級と3級が多い。 	P6
部位別身体障害者手帳所持者の推移	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部障がいが増加傾向にあり、その他の部位は横ばいもしくは減少傾向にある。 ● 肢体障がいが増加傾向にあり、次いで内部障がいが多い。 	P7
都市施設の立地状況		
駅別立地状況一覧	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢市内の生活関連候補施設の立地状況として、市内の中心地である「伊勢市駅周辺」「宇治山田駅周辺」に官公庁や商業施設が集中しており、その他、観光に関連する施設が「二見浦駅周辺」などに集積している。 	P9

項目	内容	資料集 該当ページ
観光動態		
伊勢市観光客数の推移	<ul style="list-style-type: none"> ● 2005（平成17）年から増加傾向にある。 ● 伊勢神宮（外宮・内宮）の参拝者は概ね800万人前後の横ばいで推移しており、式年遷宮のあった2013（平成25）年、その次年の2014（平成26）年では1,000万人を超えている。 ● 伊勢神宮の車いす利用台数は2010（平成22）年から微増傾向にある。 	P26
宿泊容量メッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢神宮（外宮）を最寄りとする伊勢市駅（JR・近鉄）ならびに二見興玉神社を最寄りとする二見浦駅周辺において、宿泊容量が大きい。 	P28
主要施設の観光入込客数	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢神宮（外宮・内宮）及びその周辺のおかげ横丁で最も多い。 ● この他に観光客の多い地域として、二見浦周辺がある。 	P29
公共交通		
鉄道・駅	<p>「乗客数の推移」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR線の鉄道乗客数は伊勢市駅が最も多く、増加傾向にある。次いで多い駅は五十鈴ヶ丘駅、宮川駅、二見浦駅である。 ● 近鉄線の鉄道乗客数は宇治山田駅が最も多く、2013（平成25）年をピークに減少傾向にある。次いで多い駅は伊勢市駅で増加傾向にある。 <p>「乗降客数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢市駅（JR・近鉄）が最も多く、次いで宇治山田駅である。 ● この他の駅では明野駅、五十鈴川駅で1日あたりの平均乗降客数が2,000人を超えている。 	P30

項目	内容	資料集 該当ページ
公共交通		
バス	<p>「路線バス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスで最も利用の多い路線は外宮内宮線で、次いで御座線、CANバスが多い。 <p>「コミュニティバス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● おかげバスの辻久留・藤里ルートの利用者数が最も多く、次いで東大淀・日赤ルート、二見ルートが多くなっている。 ● おかげバスデマンドでは栗野ルート、小木・田尻ルートで約1,000人以上の利用があり、沼木バスは買い物用が最も多い。 <p>「1日あたりのバス停別乗降客数」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢神宮（内宮）の最寄りバス停である「内宮前」が最も多く、次いで、伊勢市駅・宇治山田駅の最寄りバス停である「宇治山田駅前」「伊勢市駅前」が多い 	P33
道路		
広域道路ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の道路の約83.5%が市道となっており、そのうち約6.0%にあたる62,628mが未舗装である。 	P40
都市計画道路	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画道路は、29路線、計81,304mが計画されており、約76.9%（62,553m）が整備済みである。 	P41

1-2. 住民意向調査のまとめ

「【資料集】伊勢市の現況について」で整理した項目の内、住民意向調査に関する事項は下記の通りです。

○全体の回収数（回収率） 回収数：計1,645/配布数：計4,600通（約35.8%）

	障がい者 アンケート	高齢者 アンケート	子育て世代 アンケート	一般 アンケート
対象者	障害者等手帳 保持者 ^{※1}	65歳以上	5歳以下の子供 を持つ世帯 ^{※1}	左記以外 ^{※1}
配布数 ^{※2}	1,150通	1,150通	1,150通	1,150通
回収数 (回収率)	358通 (31.1%)	519通 (45.1%)	421通 (36.6%)	347通 (30.1%)
配布・返信期間	2019年9月1日～2019年9月14日 ※地域によって配布日時異なる場合がある			

※1 いずれも16歳以上の市民が対象

※2 住所不明・不在により返信されたものを含む

○アンケート結果

内容	資料集 該当ページ
アンケート結果まとめ	
<ul style="list-style-type: none"> ● 外出の頻度はいずれも高く、週1日以上外出する人が大半を占めており、主要な行き先は駅周辺では「伊勢市駅」「宇治山田駅」周辺が多くなっているが、駅周辺以外の場所の利用も多い。 	P68、P88 P107 P126
<ul style="list-style-type: none"> ● 自動車による移動が主な交通手段ではあるが、徒歩や自転車等による移動も多い。鉄道の主な乗降駅は「伊勢市駅」「宇治山田駅」「五十鈴川駅」など市内の主要駅が多い。 	P70、P90 P109 P128

内容	資料集 該当ページ
アンケート結果まとめ	
● 主な外出の目的としては、買い物や通院、公共機関や銀行、郵便局などへ外出することが多くなっている。障がい者と高齢者は通院のために外出する人の割合が全体の5割強と高く、子育て世代は、上記に加えて子育て施設への外出が多い。	P73 P93 P112 P131
● 移動をする際に不便だと感じたことについて、「通路がせまい」「凸凹や段差がある」「ベンチ等の休憩施設が少ない」が共通して多く、加えて障がい者と子育て世代からは「バス停やタクシー乗り場・駐車場まで通路に屋根がない」が多い。	P75 P94 P114
● 外出時に手助けが必要だと感じたことについて、障がい者、高齢者は「見た目では分からない障がいを理解してほしい」が最も多く、「乗り物などで席を譲ってほしい」「移動で困っているときに声をかけてほしい」「障がい衝動からくる行動を見守ってほしい」などが多くなっている。一方で高齢者については、上記に加えて「手助けが必要と感じたことはない」も多い。子育て世代については、「乳幼児を連れてくる際には配慮してほしい」が突出して多くなっている。	P79 P99 P118
● バリアフリーに関する行動（一般向けアンケートのみの質問項目）について、「扉を開けるのを手伝う」「乗り物などで席を譲る」「エレベーターを譲る」が多くなっている。	P133
● バリアフリーのまちづくりに向けて必要だと思うこととして、「バリアフリーへの教育や意識向上」「自転車利用のマナー向上」「店舗等の意識向上」「職員等の対応スキルの向上」「情報提供」が共通して多くなっている。加えて、高齢者は「地域での声かけ運動」、子育て世代は「交流の機会をつくる」も多くなっている。	P80 P100 P119 P134
● 市が実施しているバリアフリーに関する取組の認知度としては、いずれも約半数が質問にある4つの取組のうち少なくとも一つは知っていると回答しており、中でも伊勢おもてなしヘルパーと障害者サポーター制度は知っているとの回答が比較的多くなっている。	P81 P101 P120 P135

1-3. ヒアリング調査のまとめ

「【資料集】伊勢市の現況について」で整理した項目の内、ヒアリング調査に関する事項は下記の通りです。

項目	内容	資料集 該当ページ
事業者ヒアリング（バリアフリーの対応状況）		
鉄道事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊勢市駅や宇治山田駅など市の主要な駅でバリアフリー化が実施されているが、無人駅やその他の駅ではバリアフリーが未対応の箇所がある。 ● 公共交通移動等円滑化基準省令に基づく施設整備の他、筆談による対応や従業員研修を実施している。 ● 五十鈴川駅は2019（令和元）年度から2020（令和2）年度までの期間にバリアフリー化工事を実施予定である。 ● エレベーターやエスカレーターなどの整備費用、維持更新に関する費用が事業を進める上で課題となっている。 	P144
バス事業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 約2/3の車両が公共交通移動等円滑化基準省令に適合した車両であり、その内ノンステップバスは約半数を占める。 ● 公共交通移動等円滑化基準省令に基づく施設整備の他、障がい者、高齢者の対応マニュアルの用意や、運転手による補助を実施している。 ● 2019（令和元）年度に伊勢営業所管内でノンステップバスを3台導入予定である。 ● 事業を進める上での課題として、全てのバスがノンステップバスやバリアフリーに対応しているわけではないので、どうしても時間や路線によってはバリアフリーに対応していないバスになることもある。 	P148
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉対応やバリアフリー対応の車両はないが、車いすの貸出や車いす利用者は運転者が車いすの格納や障がい者、高齢者の介助を実施している。 	P149

項目	内容	資料集 該当ページ
団体ヒアリング（移動で不便だと感じること）		
肢体・身体 障がい者団体	「駅・鉄道」 <ul style="list-style-type: none"> ● 駅構内の移動や駅内の施設 エレベーターの位置案内や手すりの有無・位置、駐車場からの経路など移動経路に関する点や、トイレなどの設備面 ● 改札口やプラットホーム 電車とホームの段差や隙間など(つまづくなど危険を感じる) ● 鉄道車両 車いす用スペースのそばに介助者の席がないことや、狭い通路の車いすでの移動 ● その他 駅へ移動する際に踏切の隙間やマナー 「バス停・バス」 <ul style="list-style-type: none"> ● 上屋やベンチがないため、バス待ち時が不便なこと ● 車いす対応のバスにいつ乗れるかが分からないこと 「タクシー」 <ul style="list-style-type: none"> ● 運転手の対応や夜間の配車時間 「市内のバリアフリー対策」 <ul style="list-style-type: none"> ● 道路の凸凹や段差、通路幅や、一般の人の違法駐車や駐車マナー 	P150
視覚障がい者 団体	「駅・鉄道」 <ul style="list-style-type: none"> ● 駅構内の移動や駅内の施設 移動経路の分かりづらさやタッチ式・センサー式のトイレや券売機（障がいの種別によっては利用が難しい） ● 改札口やプラットホーム 点字ブロックによる案内の分かりづらさや、普段と乗車位置が異なる電車での乗り降りが難しいこと ● その他 多目的トイレを休憩室代わりに使う人がいるなどマナーに関する問題や、転落防止に関する対策が不十分なこと 	P152

項目	内容	資料集 該当ページ
団体ヒアリング（移動で不便だと感じること）		
視覚障がい者 団体	「バス停・バス」 <ul style="list-style-type: none"> ● 駅からバス停へ向かう所に点字ブロックが無い場所があることや、点字ブロックによる乗降位置案内が分かりづらい場所があること 「タクシー」 <ul style="list-style-type: none"> ● タクシーが利用できる時間に併せて行動しないといけないこと 「市内のバリアフリー対策」 <ul style="list-style-type: none"> ● 点字ブロックの整備が途中で終わっている箇所や、車道よりも歩道が高くなっているマウントアップの歩道が多く、勾配になっている箇所が多いこと 	P152
聴覚障がい者 団体	「駅・鉄道」 <ul style="list-style-type: none"> ● 駅構内の移動や駅内の施設 切符を買うために駅員を呼び障害者等手帳を見せなければならぬことや、エレベーターにモニターがないため、緊急時のコミュニケーションが取れないこと ● 改札口やプラットホーム 電車が遅れた際の情報提供や伝達手段 ● 鉄道車両 車内での情報を入手する手段がないこと 「バス停・バス」 <ul style="list-style-type: none"> ● バス停やバス内で情報を得る手段がないため、遅延情報や今どこを走っているかなどの情報が分からないこと ● 雨風をしのぐための上屋などがバス停にないこと 「タクシー」 <ul style="list-style-type: none"> ● 運転手相手にコミュニケーションをとることに苦労すること 「市内のバリアフリー対策」 <ul style="list-style-type: none"> ● 手話を知っている人、できる人が少ない点や、コンビニなどにサインボードを作って配布したが、利用しているコンビニが少ないことなど 	P153

項目	内容	資料集 該当ページ
団体ヒアリング（移動で不便だと感じること）		
知的障害者 父母の会	<p>「駅・鉄道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅構内の移動や駅内の施設 エレベーターの有無や、エレベーターの場所の分かりやすさなど 移動上の問題や、トイレ・時刻表や運賃表の高さなどの施設面 ● 改札口やプラットホーム 改札口の幅や混雑時に知的がい者が利用しやすい専用レーン整備の有無、乗降位置の明示など ● 鉄道車両 車いす用のスペースに、車いすをロックするような装置が欲しい ● その他 気軽に相談できる方法や環境が少ないこと <p>「バス停・バス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バス停で、バスの時間や乗り継ぎ、乗り換えの手段、時間などが分かりにくいこと ● 車いす対応のバスにいつ乗れるかが分からないこと ● バス停周辺は安全に待機できるスペースが少ないこと <p>「タクシー」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間の配車が少なくことや、車いす対応のタクシーが少ないこと <p>「市内のバリアフリー対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 街灯や植え込みなど歩道上の障害物、車が乗り入れるために傾斜になっていることなど 	P154
高齢者団体	<p>「駅・鉄道」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 駅構内の移動や駅内の施設 エレベーターの有無や階段の幅・間隔など ● 改札口やプラットホーム 無人駅での乗車券の対応や、点字ブロックの歩きづらさ、階段の幅など ● 鉄道車両 電車とホームの段差や隙間、目的地への最短ルートなどに関する 情報提供手段 	P156

項目	内容	資料集 該当ページ
団体ヒアリング（移動で不便だと感じること）		
高齢者団体	<p>「バス停・バス」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● バス停の分かりやすさや上屋の有無、バス運行に関する情報提供の少なさなど ● バス車両に乗る際の段差や、目的地までの情報提供の少なさ 「タクシー」 ● 市内バスが無い夜間などにタクシーが使えず、利用できたとしても時間がかかること 「市内のバリアフリー対策」 ● 車いすで観光に来た人でも分かりやすいような案内が必要 ● レンガで整備された歩道は、木の根っこや老朽化の凸凹で転倒しやすいこと。また、杖がレンガの溝に挟まりやすいこと 	P157
伊勢志摩バリアフリーツア－センター	<p>「市内の主要な観光地や観光施設」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多機能トイレは、マルチすぎて、本当に使用したいときに使用できないこともある ● 異性介助の視覚障害者とLGBT用のトイレも必要になってくる ● 思いやり駐車場や車いす対応駐車場がキャパオーバーになってきている ● 以前に整備した箇所の補修や現行の法令基準の引き上げ改修などの対応が曖昧になっている <p>「観光地周辺の移動」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 案内が分かりにくいというえ、距離が分からないためどの程度進む必要があるのかが分かりにくい ● 道路を整備しても違法駐車や店舗の入り口の段差など依然としてバリアが存在している <p>「市内のバリアフリー対策」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 当初の予定がダメになった場合の代替案の提供（リロード）が不足している ● トイレや駐車場が利用できなかった場合にどこを利用すればいいのかなどの情報提供・伝達手段が重要である 	P158

2. 移動等円滑化促進候補地区の抽出

2-1. 移動等円滑化促進地区の要件

移動等円滑化促進地区（生活関連施設が集積し、その間の移動が通常徒歩で行われる地区）を選定するにあたり、移動等円滑化促進地区の要件は「バリアフリー法」で以下のように定められています。

■移動等円滑化促進地区の要件

- (1) 生活関連施設（高齢者、障害者等が日常生活又は社会生活において利用する旅客施設、官公庁施設、福祉施設その他の施設）の所在地を含み、かつ、生活関連施設相互間の移動が通常徒歩で行われる地区であること。
- (2) 生活関連施設及び生活関連経路（生活関連施設相互間の経路）を構成する一般交通施設（道路、駅前広場、通路、その他の一般交通の用に供する施設）について移動等円滑化促進することが特に必要であると認められる地区であること。
- (3) 当該地区において移動等円滑化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切であると認められる地区であること。

移動等円滑化促進地区の選定にあたっては、バリアフリー法で定められた移動等円滑化促進地区の各要件について、2017（平成29）年に策定した「伊勢市交通バリアフリー基本構想」における重点整備地区の考え方を踏まえつつ、以下の「移動等円滑化促進地区（案）選定の考え方」に基づき指標及び点数を設定します。

選定の考え方として、要件（1）～（3）毎に具体的な指標をそれぞれ設定し、指標毎に順位づけ・得点化を行います。要件（1）については、高齢者や障がい者がよく利用する地域や生活関連施設の有無で評価を行います。要件（2）については、鉄道駅の平均乗降客数や鉄道駅と連携して公共交通の利用促進が期待できるバスの利用客数をもとに旅客施設関連の評価を実施します。そして、要件（3）で都市マスタープランによる今後のまちづくりでの位置づけや主要な観光施設の入込数から最寄り駅の評価を行います。

各評価結果を踏まえて、要件（1）～（3）を満たし、かつ評価の総合点が高い駅を中心とした地区が本市の中でも、バリアフリー化を促進する必要性が高い地区であると判断し、移動等円滑化促進地区（案）として選定します。

■伊勢市の移動等円滑化促進地区（案）選定の考え方

評価指標	考え方
(1) 生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区	
(ア) 障がい者などが主に利用する駅周辺地域	高齢者や障がい者、子ども連れの方などが多く利用する地区は、バリアフリー化の必要性が高い
(イ) 生活関連施設候補数	
(2) 生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化の促進が特に必要な地区	
(ウ) 鉄道駅の1日あたりの平均乗降客数	駅や駅周辺のバス停などの公共交通機関の利用が多いほど、高齢者や障がい者、子ども連れの方が利用する機会が多いと考えられ、バリアフリー化の必要性が高い
(エ) バス停の1日あたりの平均乗降客数	
(3) バリアフリー化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区	
(オ) 都市マスタープランの位置づけ	上位計画と整合したバリアフリー化も重要となる
(カ) 観光入込客数	観光客が多く、市内外から多くの人を利用する施設は、障がい者や高齢者などの利用も多く、バリアフリー化の必要性が高い

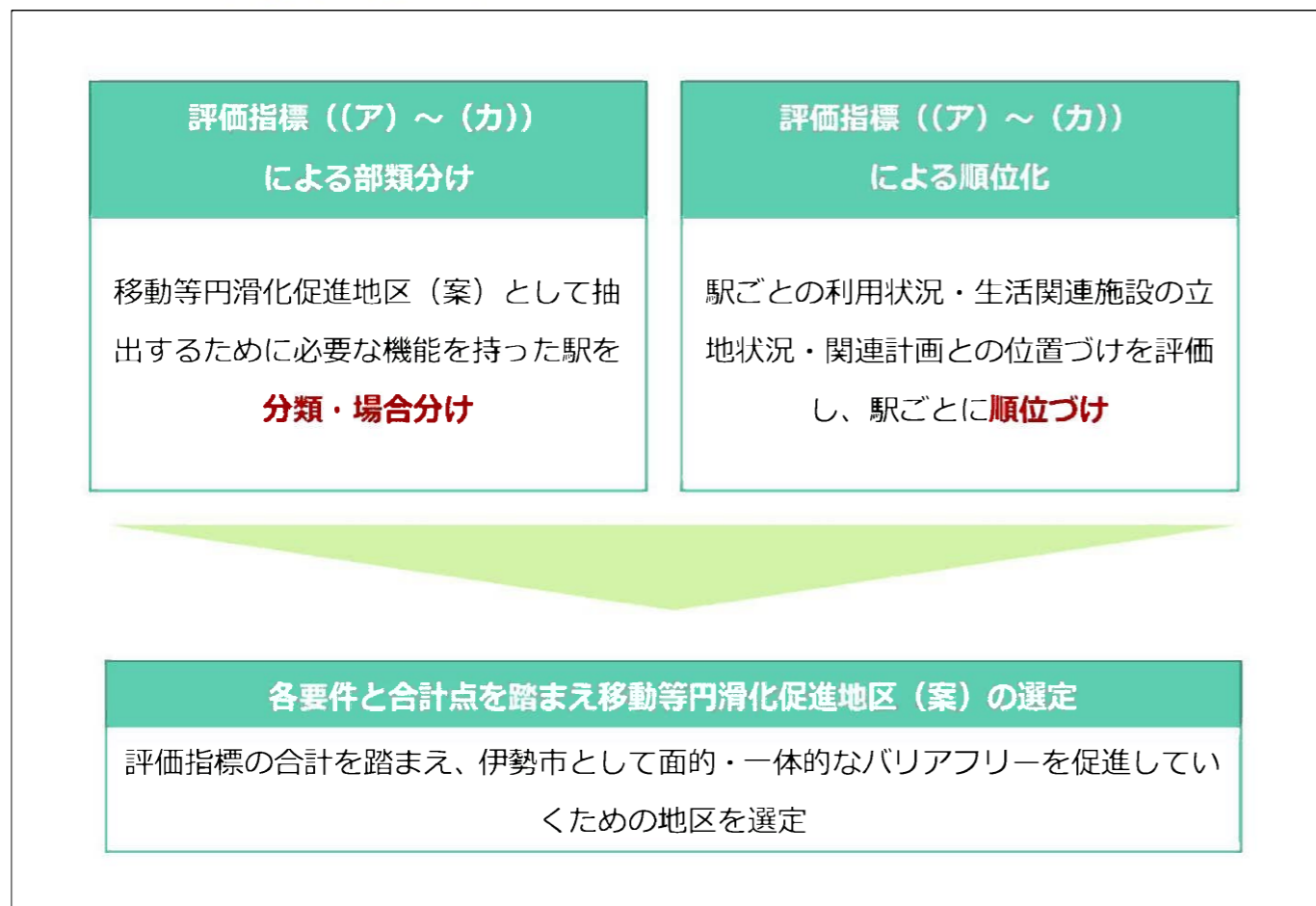
2-2. 移動等円滑化促進地区（案）選定基準

下記のフローと選定の考え方に基づいて、移動等円滑化促進地区（案）を選定します。

まず、各評価指標に対して、移動等円滑化促進地区（案）として抽出するための基準値を設定し、その基準値を満たしているかどうかの判断をします。それと合わせて、評価指標毎に個別で評価を行い、評価指標の得点を算出します。各要件で基準値を満たし、かつ、各評価指標の総合点が高い上位3駅を、移動等円滑化促進地区（案）として抽出・選定します。

なお、伊勢市駅はJR線と近鉄線の2駅がありますが、一つの駅として評価を実施します。また、近鉄線の五十鈴川駅については、2017（平成29）年に策定した「伊勢市交通バリアフリー基本構想」において重点整備地区として既に指定されており、事業着手に至っていることから、バリアフリーマスタープランでは五十鈴川駅周辺の重点整備地区の区域を移動等円滑化促進地区として位置づけることとし、今回の促進地区（案）の抽出・選定では対象外としています。

■移動等円滑化促進地区（案）の選定フロー



■評価指標毎の基準値

評価指標	基準値
(ア) 障がい者などが主に利用する駅周辺地域	障がい者などが主に利用する割合が 1.5%以上
(イ) 生活関連候補施設数*	生活関連施設候補の数が 3箇所以上
(ウ) 鉄道駅の1日あたりの平均乗降客数	1日あたりの鉄道駅の平均乗降客数が 2,000人/日以上
(エ) バス停の1日あたりの平均乗降客数	1日あたりのバス停の平均乗降客数が 30人/日以上
(オ) 都市マスタープランの位置づけ	拠点 としての位置づけ
(カ) 観光客入込数	徒歩圏内（駅から1.4kmの範囲）に 観光施設 が存在

■評価指標毎の評価基準

評価指標	評価点		
(ア) 障がい者などが主に利用する駅周辺地域	1位：3点	2位：2点	3位：1点
(イ) 生活関連施設候補数*	1位：3点	2位：2点	3位：1点
(ウ) 鉄道駅の1日あたりの平均乗降客数	1位：3点	2位：2点	3位：1点
(エ) バス停の1日あたりの平均乗降客数	1位：3点	2位：2点	3位：1点
(オ) 都市マスタープランの位置づけ	都市交流拠点：3点 地域交流拠点：2点 その他交流拠点：1点		
(カ) 観光客入込数	1位：3点	2位：2点	3位：1点

※評価対象の駅に評価対象以外の旅客施設が含まれている場合は、候補数から除く。
（評価対象の駅とその周辺の生活関連施設の立地状況で評価するため）

2-3. 選定基準の評価

下記のように、評価指標の評価を行いました。

(ア) 障がい者などが主に利用する駅周辺地域 (%)

評価基準に基づき、障がい者など^{*1}が主に利用する駅周辺地域として最も回答が多い伊勢市駅を「3」点、次いで多い宇治山田駅を「2」点、3番目に多い宮川駅を「1」点としています。

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
基準値	○	○	○	○	○	×
割合	9.1	20.9	2.8	4.9	4.6	0.5
点数	2	3	—	—	—	—
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
基準値	×	○	×	×	×	
割合	1.0	6.6	1.3	1.0	0.1	
点数	—	1	—	—	—	

※1：2019年11月実施の市民アンケート結果（一般、障がい者、高齢者、子育て世代）

※2：上記回答の他、駅周辺以外（33.0%）、無回答（6.7%）含む

(イ) 生活関連施設候補数

評価基準に基づき、駅から徒歩圏内（駅起点に半径1.4kmの円）における生活関連施設候補数^{*}が最も多い伊勢市駅を「3」点、次いで多い宇治山田駅を「2」点、3番目に多い宮町駅を「1」点としています。

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
基準値	○	○	○	○	○	×
施設数	46	52	6	28	7	2
点数	2	3	—	1	—	—
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
基準値	○	○	○	○	○	
施設数	6	8	18	18	3	
点数	—	—	—	—	—	

※評価対象の駅に評価対象以外の旅客施設が含まれている場合は、候補数から除く

(ウ) 鉄道駅の1日あたりの平均乗降客数（人/日）

評価基準に基づき、1日あたりの平均乗降客数が最も多い伊勢市駅を「3」点、次いで多い宇治山田駅を「2」点、3番目に多い明野駅を「1」点としています。

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
基準値	○	○	○	×	×	×
乗降客数	8,650	10,187	2,061	1,227	746	132
点数	2	3	1	—	—	—
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
基準値	×	×	×	×	×	
乗降客数	536	530	496	218	60	
点数	—	—	—	—	—	

(エ) バス停の1日あたりの平均乗降客数（人/日）

評価基準に基づき、駅から移動可能な高齢者徒歩圏^{*}（駅起点に半径500m）の中に該当するバス停で、最もバス利用客数の多い宇治山田駅前バス停「3」点、次いで多い二見浦表参道バス停を「1」点としています。

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
基準値	○	○	×	○	×	×
バス停名	宇治山田駅前	宇治山田駅前	近鉄明野駅前	宮町	下小俣公民館	朝熊町
乗降客数	1846.8	1846.8	12.4	98.0	1.8	7.7
点数	3	3	—	—	—	—
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
基準値	○	×	○	○	×	
バス停名	山商口	小俣総合支所前	二見浦表参道	宮町	松下広場	
乗降客数	40.6	14.1	220.3	98.0	2.3	
点数	—	—	1	—	—	

※都市構造の評価に関するハンドブック

(オ) 都市マスタープランの位置づけ

評価基準に基づき、都市交流拠点に位置づけられている宇治山田駅と伊勢市駅を「3」点、地域交流拠点に位置づけられている小俣駅と宮川駅、二見浦駅を「2」点、市民交流拠点を含まず五十鈴ヶ丘駅を「1」点としています。

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
基準値	○	○	×	×	○	×
拠点	都市交流 拠点	都市交流 拠点	—	—	地域交流 拠点	—
点数	3	3	—	—	2	—
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
基準値	○	○	○	×	×	
拠点	市民交流 拠点	地域交流 拠点	地域交流 拠点	—	—	
点数	1	2	2	—	—	

(カ) 観光入込客数

評価基準に基づき、観光入込客数が最も多い伊勢神宮（外宮）のアクセス駅である宇治山田駅と伊勢市駅を「3点」、次いで二見興玉神社のアクセス駅である二見浦駅を「1」点としています。

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
基準値	○	○	×	×	×	×
アクセス駅	伊勢神宮 (外宮)	伊勢神宮 (外宮)	—	—	—	—
点数	3	3	—	—	—	—
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
基準値	×	×	○	×	○	
アクセス駅	—	—	二見興玉神社	—	民話の駅 蘇民	
点数	—	—	1	—	—	

※宮町駅は駅から徒歩圏内（駅起点に半径 1.4km の円）に伊勢神宮（外宮）がありますが、伊勢神宮公式 HP および伊勢市観光協会 HP において、伊勢神宮のアクセス駅として「宇治山田駅」「伊勢市駅」が表記されているため、アクセス駅として評価対象外とします。

◆各要件における基準値の整理

評価基準ごとに行った基準値の適合の結果を各要件で整理した結果、「伊勢市駅」「宇治山田駅」「二見浦駅地区」で各要件を満たしています。

【要件の評価基準】

- ：各要件の評価指標の内、1つでも基準値を満たしている
- ×

【近鉄】	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅
要件1	○	○	○	○	○	×
評価指標（ア）	○	○	○	○	○	×
評価指標（イ）	○	○	○	○	○	×
要件2	○	○	○	○	×	×
評価指標（ウ）	○	○	○	×	×	×
評価指標（エ）	○	○	×	○	×	×
要件3	○	○	×	×	○	×
評価指標（オ）	○	○	×	×	○	×
評価指標（カ）	○	○	×	×	×	×
【JR】	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上り駅	松下駅	
要件1	○	○	○	○	○	
評価指標（ア）	×	○	×	×	×	
評価指標（イ）	○	○	○	○	○	
要件2	○	×	○	○	×	
評価指標（ウ）	×	×	×	×	×	
評価指標（エ）	○	×	○	○	×	
要件3	○	○	○	×	○	
評価指標（オ）	○	○	○	×	×	
評価指標（カ）	×	×	○	×	○	

2-4. 移動等円滑化促進地区（案）の選定結果

◆移動等円滑化促進地区（案）の選定

移動等円滑化促進地区（案）の選定基準に基づいて評価を行った結果、各要件で評価基準を満たしており、かつ総合順位の高い「伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区」「二見浦駅地区」を本市の中でも優先的にバリアフリー化を進めて行く地区として移動等円滑化促進地区（案）に定めます。

なお、伊勢市駅と宇治山田駅は本市都市マスタープランにおいて一体的な中心市街地として位置づけていることから、個別に移動等円滑化促進地区（案）として設定せずに、両駅を合わせた面的なエリアを一つの地区として設定します。

	宇治山田駅	伊勢市駅	明野駅	宮町駅	小俣駅	朝熊駅	五十鈴ヶ丘駅	宮川駅	二見浦駅	山田上口駅	松下駅
【要件（1）】											
生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区 （基準値を達成した評価指標の数）	2	2	2	2	2	0	1	2	1	1	1
評価指標（ア）の評価点	2	3	—	—	—	—	—	1	—	—	—
評価指標（イ）の評価点	2	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—
【要件（2）】											
生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化の促進が特に必要な地区 （要件を達成した〇の数）	2	2	1	1	0	0	1	0	1	1	0
評価指標（ウ）の評価点	2	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—
評価指標（エ）の評価点	3	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—
【要件（3）】											
バリアフリー化を促進することが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区 （要件を達成した〇の数）	2	2	0	0	1	0	1	1	2	0	1
評価指標（オ）の評価点	3	3	—	—	2	—	1	2	2	—	—
評価指標（カ）の評価点	3	3	—	—	—	—	—	—	1	—	—
基準値を達成した評価指標数	6	6	3	3	3	0	3	3	4	2	2
評価点の合計	15	17	1	1	2	0	1	3	4	0	0
総合順位	2位	1位	8位	8位	5位	11位	8位	4位	3位	10位	10位

まち歩き現地調査について

■ 道路の主なルート設計の考え方

(1) 伊勢市駅・宇治山田駅コース

ルート1：観光客向けを想定したルート

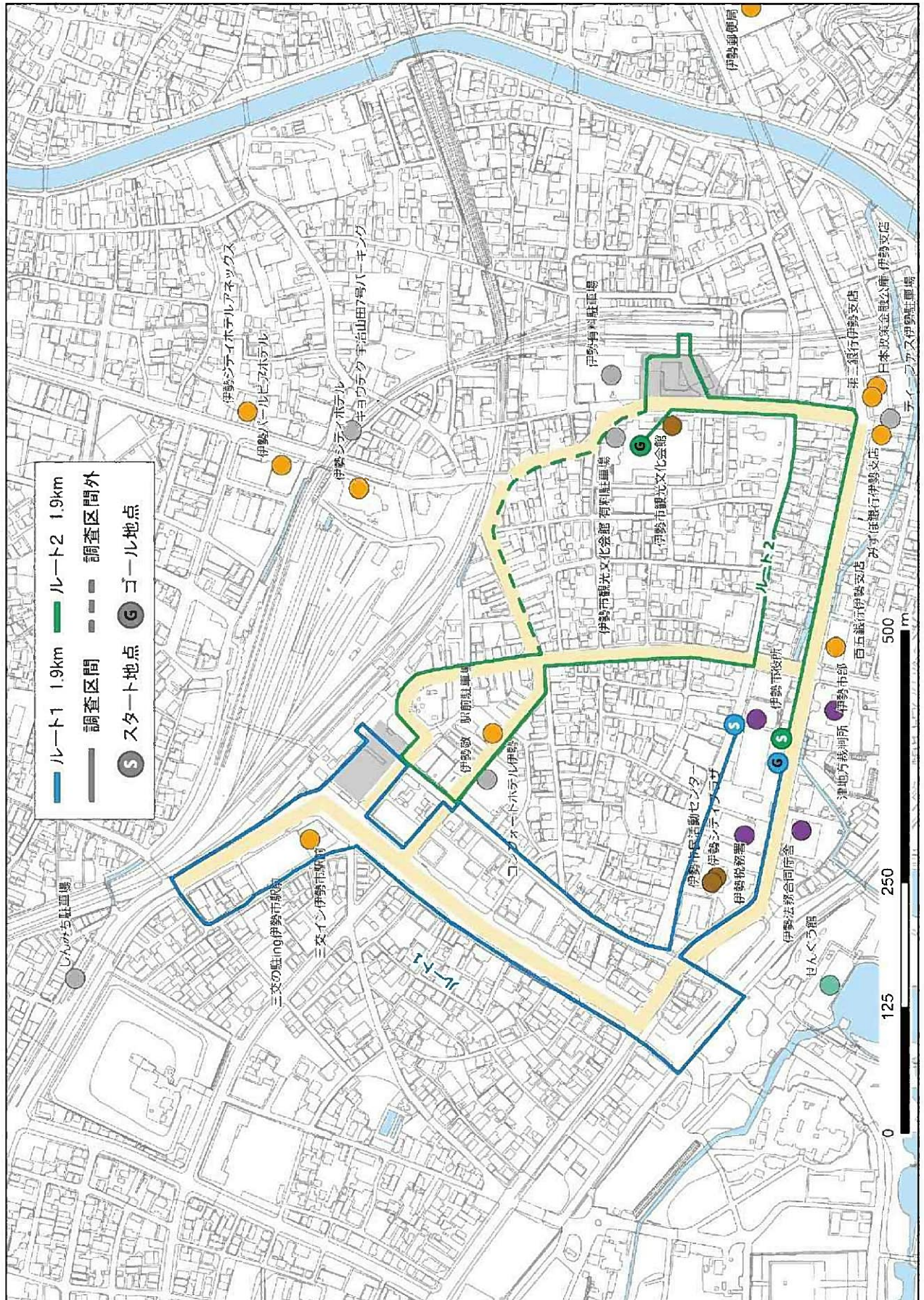
市外の人が電車を利用して観光する場合の動線を想定し、伊勢神宮（外宮）と伊勢市駅を結ぶ2本の主要な動線を確保しつつ、再開発地区などを経由するルートをコースとして設定する。

ルート2：市民向けを想定したルート

地元の人が主に伊勢市駅・宇治山田駅周辺の生活関連候補施設を徒歩で使用する場合の動線を想定し、伊勢市役所と伊勢市駅・宇治山田駅を結ぶ主要な道路をコースとして設定する。

(2) 二見浦駅コース

電車を利用して訪れた観光客の動線や、地元の人が地区内の生活関連候補施設を徒歩で使用する場合の主な動線を想定し、二見総合支所を起点として、駅や二見浦表参道、公共施設や二見興玉神社を参拝する主要な観光ルート上をコースとして設定する。



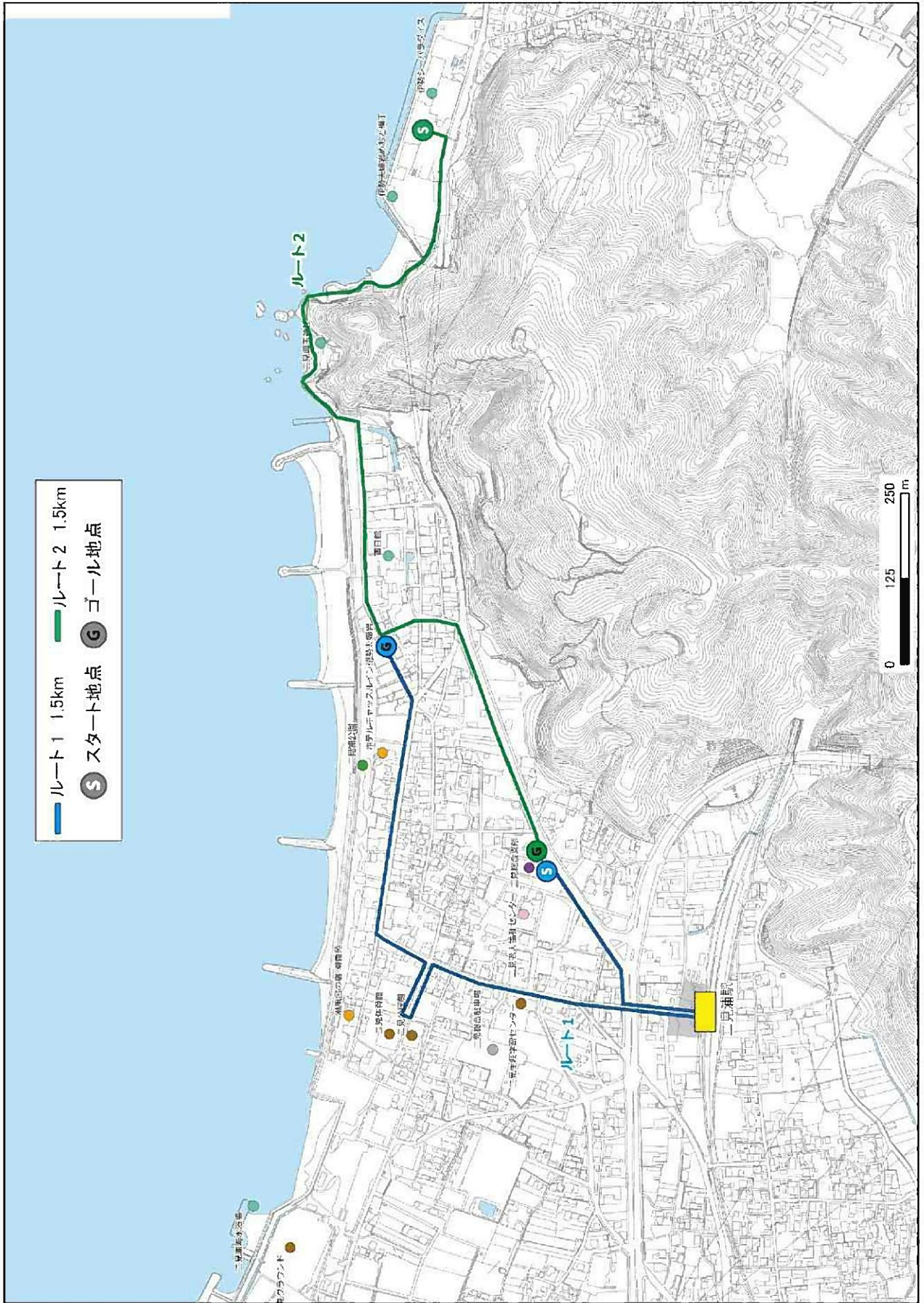
【伊勢市駅・宇治山田駅周辺地区】

開始時間 13:00
 集合場所 伊勢市役所

伊勢市駅ルート			
開始時間	項目	場所 (チェックポイント)	備考
13:00	事前説明	伊勢市役所	
13:15	まち歩き	伊勢市役所	
13:30	↓	伊勢神泉 (ホテル)	
13:45	↓	伊勢市駅	駅確認
14:00	↓	伊勢市駅	駅確認
14:15	(トイレ休憩)	伊勢市駅	
14:30	↓	駅前広場	
14:45	↓	本町1交差点	
15:00	↓	外宮前観光案内所	
15:15	↓	伊勢市役所	
15:30	(トイレ休憩)	伊勢市役所	
15:45	意見まとめ	伊勢市役所	
16:00	↓	伊勢市役所	
16:15	解散	伊勢市役所	
所要時間		3:15	

伊勢市駅ルート			
開始時間	項目	場所 (チェックポイント)	備考
13:00	事前説明	伊勢市役所	
13:15	まち歩き	伊勢市役所	
13:30	↓	宇治山田駅	駅確認
13:45	↓	宇治山田駅	駅確認
14:00	(トイレ休憩)	宇治山田駅	
14:15	↓	駅前広場	
14:30	↓	吹上公園	
14:45	↓	中部電力伊勢営業所	
15:00	↓	伊勢市観光文化会館	
15:15	移動	伊勢市観光文化会館	
15:30	(トイレ休憩)	伊勢市役所	
15:45	意見まとめ	伊勢市役所	
16:00	↓	伊勢市役所	
16:15	解散	伊勢市役所	
所要時間		3:15	

【まち歩き】二見浦駅周辺コース



【二見浦駅周辺地区】

開始時間 13:00
 集合場所 二見総合庁舎

表参道ルート			備考
開始時間	項目	場所 (チェックポイント)	
13:00	事前説明	二見総合庁舎	
13:15	まち歩き	二見総合庁舎	
13:30	↓	二見浦駅	駅確認
13:45	↓	駅前広場	
14:00	(トイレ休憩)	生涯学習センター	
14:15	↓	朝日館 (ホテル)	
14:30	(移動)	ファミリーマートめおと岩店	調査対象外
14:45	↓	二見総合支所	
15:00	(トイレ休憩)	二見総合支所	
15:15	意見まとめ	二見総合支所	
15:30	↓	二見総合支所	
15:45	解散	二見総合支所	
所要時間			2:45

国道ルート			備考
開始時間	項目	場所 (チェックポイント)	
13:00	事前説明	二見総合庁舎	
13:15	移動	二見総合庁舎	
13:30	↓	伊勢志摩シーパラダイス	
13:45	まち歩き	伊勢志摩シーパラダイス	
14:00	↓	二見興玉神社 (社務所)	
14:15	(トイレ休憩)	二見興玉神社	
14:30	↓	日草館 (ホテル)	
14:45	↓	二見総合庁舎	
15:00	(トイレ休憩)	二見総合支所	
15:15	意見まとめ	二見総合支所	
15:30	↓	二見総合支所	
15:45	解散	二見総合支所	
所要時間			2:45

伊勢市バリアフリーマスタープラン策定スケジュール（案）

